安寿 あんじゅ

レンタル事業者様向け

※利用者様は部品の交換は行わず、部品の購入・交換については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

歩行車
リトルターンⅡ / リトルターンⅡ 抑速プラス
部品交換マニュアル

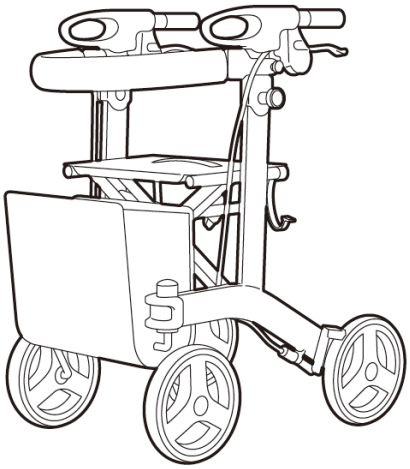
この部品交換マニュアルは必ずお読みいただき、大切に保管してください

この部品交換マニュアルを必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、マニュアルに沿って作業を進めてください。
なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

※ 部品交換後は該当部の確認をメンテナンスガイドに従って必ず行ってください。

必要工具

六角レンチ	:	2mm
		2．5mm
		3mm
		4mm×2本
		5mm
ソケットレンチ	:	13mm
スパナ	:	10mm
プラスドライバー	:	2番
マイナスドライバー		
ラジオペンチ		
ワイヤーカシメ工具		

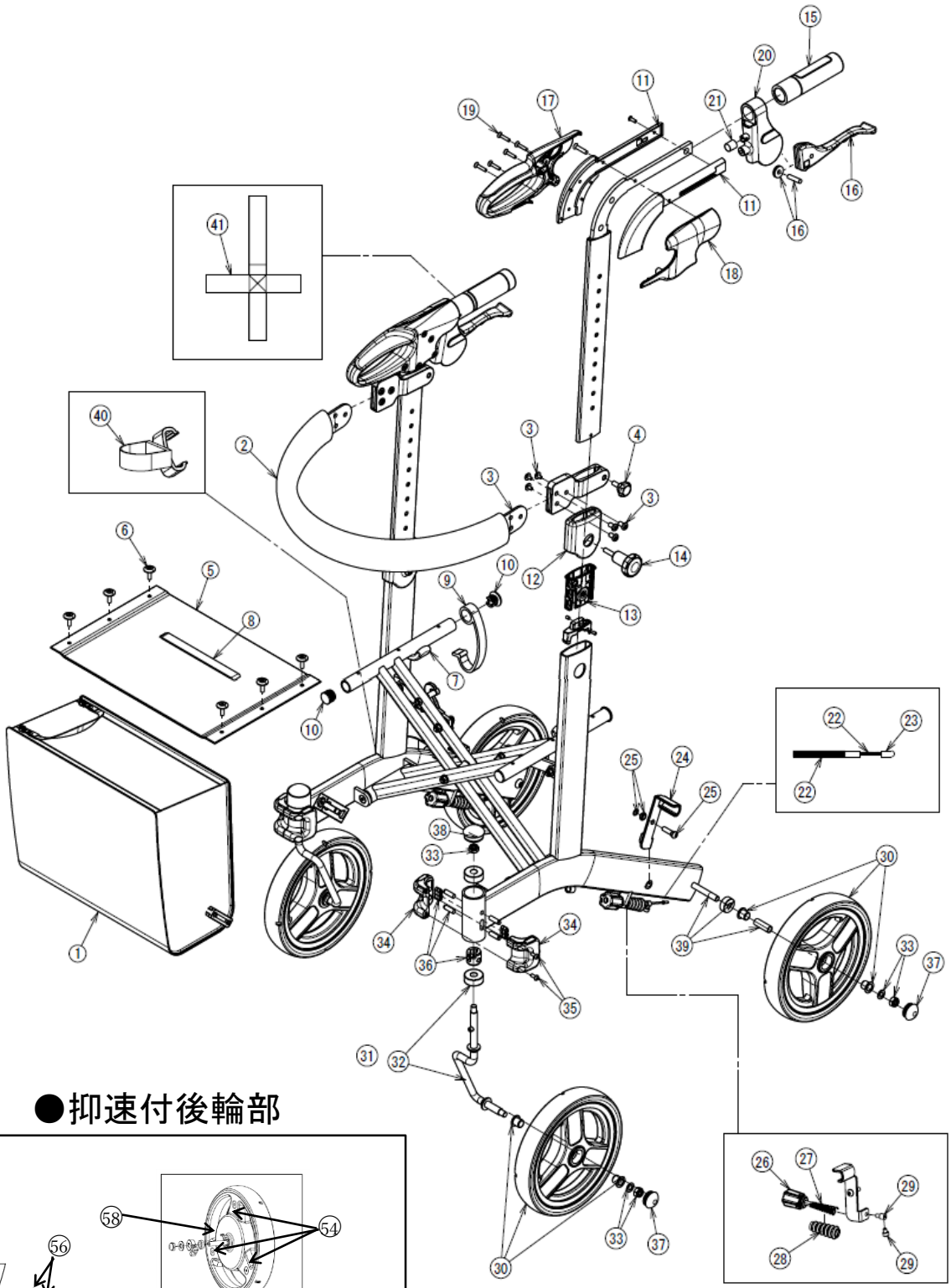


もくじ

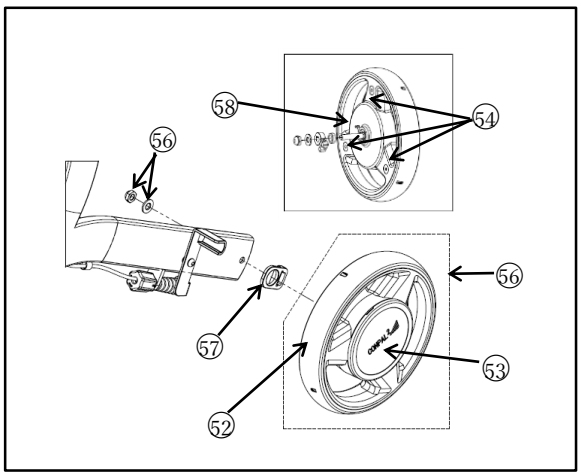
部品リスト	1～3
①各部の交換方法	4～29
1．バッグの交換方法	4
2．姿勢保持ベルトの交換方法	5～6
3．座面の交換方法	6～8
4．ハンドル部・ブレーキ部の交換方法	9～18
5．後輪の交換方法	18～25
6．前輪の交換方法	26～28
7．杖ホルダーの交換方法	29
8．杖固定ベルトの交換方法	29
②フレームの補修方法	30
③交換後の点検	30
④ブレーキの調整方法	31
⑤シールの貼付位置	31
注意事項	32

メンテナンス関連動画
一覧はこちら▶

部品リスト



●抑速付後輪部



部品リスト

No.	部品名	掲載ページ	製品コード	価格	備考
1	バッグセット（L/H/抑速用）	4	591952	5,700円	リトルターンと共通
2	姿勢保持ベルトカバー	5	591953	2,300円	リトルターンと共通
3	姿勢保持ベルトセット	5	591954	3,800円	リトルターンと共通
4	姿勢保持ベルト固定ノブボルト（2個入り）	5	591955	3,000円	リトルターンと共通
5	座面	6	591956	4,300円	リトルターンと共通
6	座面固定ボルトセット（6本入り）	6	591957	1,700円	リトルターンと共通
7	座面受けカバーセット（2個入り）	8	591958	3,000円	リトルターンと共通
8	折りたたみベルト	6	591999	2,200円	リトルターンと共通
9	折りたたみ保持フック	8	591960	1,600円	リトルターンと共通
10	シートパイプエンドキャップセット	8	591961	1,300円	リトルターンと共通
11	ハンドル基部左右セット（LTⅡ用）	14	592710	3,300円	リトルターンⅡKMと共通
12	高さ調節クランプ外（2個入り）	17	592711	2,300円	
13	高さ調節クランプ内（2個入り）	17	592712	2,300円	リトルターンⅡKMと共通
14	高さ調節ノブボルト	17	592459	2,100円	リトルターンZと共通
15	ハンドルグリップセット（2個入り）	14	592713	4,000円	リトルターンⅡKMと共通
16	ブレーキレバーセット	9	592714	2,200円	リトルターンⅡKMと共通
17	楽らくグリップ左右セット	14	592715	4,500円	リトルターンⅡKMと共通
18	楽らくグリップカバー左右セット	14	592716	2,500円	リトルターンⅡKMと共通
19	楽らくグリップ固定ネジセット（10本入り）	14	592717	2,500円	リトルターンⅡKMと共通
20	ブレーキ基部（左右セット）	14	591967	3,200円	リトルターンと共通
21	ブレーキ基部キャップ×２	9	591968	1,800円	リトルターンと共通
22	ブレーキワイヤーセット（LTⅡ用）	9	592718	3,500円	リトルターンⅡKMと共通
23	ブレーキワイヤー端部キャップ（10個入り）	9	591971	1,700円	リトルターンと共通
24	ブレーキ板（左右セット）	16	592210	2,100円	リトルターンと共通
25	ブレーキ板固定ボルトセット	16	591973	1,300円	リトルターンと共通
26	ブレーキ調節ネジ（内蔵バネ含む）	9	592488	1,300円	リトルターンZと共通
27	ブレーキバネ	9	591975	1,300円	リトルターンと共通
28	ブレーキバネカバー	9	591976	1,300円	リトルターンと共通
29	ブレーキ固定ソケットセット	9	591977	1,700円	リトルターンと共通
30	タイヤセット前輪・後輪共通（2個入り）	18, 25	592719	4,200円	リトルターンⅡKMと共通

次ページに続く

※「備考」欄に※印がある部品は図示していません。
※価格は予告なく変更する場合があります。最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。

部品リスト（つづき）

No.	部品名	掲載ページ	製品コード	価格	備考
31	前輪フォークセット（右）	25	592720	3,500円	リトルターンⅡKMと共通
32	前輪フォークセット（左）	25	592721	3,500円	リトルターンⅡKMと共通
33	前輪・後輪固定ナットセット（10個入り）	18, 25	592722	2,500円	リトルターンⅡKMと共通
34	前輪角度制御レバー左右セット	25	592723	2,500円	リトルターンⅡKMと共通
35	前輪角度制御レバー固定ネジセット（10本入り）	25	592724	2,500円	リトルターンⅡKMと共通
36	前輪角度制御セット	25	592725	3,000円	リトルターンⅡKMと共通
37	後輪キャップ	18, 25	591979	1,300円	リトルターンと共通
38	前輪フォークキャップ	25	591983	1,300円	リトルターンと共通
39	後輪シャフトセット	18	592726	2,500円	リトルターンⅡKMと共通
40	杖ホルダー	28	591984	1,700円	リトルターンと共通
41	杖固定ベルト	28	591985	1,300円	リトルターンと共通
42	ブレーキ・駐車ロックシール左右10枚入り	30	592000	1,500円	リトルターンと共通 ※
43	ブレーキ調節表示シール10枚入り	30	592001	1,500円	リトルターンと共通 ※
44	指はさみ注意シール10枚入り	30	592002	1,500円	リトルターンと共通 ※
45	フレーム前方保護シール10枚入り	30	592727	1,600円	リトルターンⅡKMと共通 ※
46	フレーム後方保護シール10枚入り	30	592215	1,600円	リトルターンZ、 ショッピングターンと共通 ※
47	ブレーキ指はさみ注意シール左右10枚入り	30	592006	1,500円	リトルターンと共通 ※
48	前輪角度位置表示シール10枚入り	30	592728	1,600円	リトルターンⅡKMと共通 ※
49	回転制御表示シール10枚入り	30	592729	1,600円	リトルターンⅡKMと共通 ※
50	補修用スプレーR	29	592278	11,000円	リトルターンと共通 ※
51	補修用ペイントR（タッチペン）	29	592279	5,500円	リトルターンと共通 ※
52	LTⅡ抑速プラス交換タイヤキット1台分	21	592741	15,000円	リトルターンZ抑速プラスと共通
53	LTⅡ抑速プラスセンターキャップ	24	592742	3,300円	リトルターンZ抑速プラスと共通
54	LTⅡ抑速プラスM6皿ボルトセット	21	592743	2,900円	リトルターンZ抑速プラスと共通
55	LTⅡ抑速プラス抑速ブレーキ力調節用六角レンチ	24	592744	2,100円	リトルターンZ抑速プラスと共通 ※
56	LTⅡ抑速プラス抑速ユニット左右セット	19	592745	49,500円	リトルターンZ抑速プラスと共通
57	LT抑速付(M8)タイヤジョイントセット1台分	19	592336	3,300円	
58	LTⅡ抑速プラス抑速ユニットシャフトキー	19	592746	2,500円	リトルターンZ抑速プラスと共通

※「備考」欄に※印がある部品は図示していません。
※価格は予告なく変更する場合があります。最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。

①各部の交換方法

1. バッグの交換方法

この交換方法で交換できる部品

交換部品
1. バッグセット（L/H/抑速用）

※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1）折りたたみベルトを上方向に引っ張り、本体を軽く閉じます。

2）バッグを斜め上方に向けてスライドさせるように引っ張り上げます。

3）新しいバッグの側面にあるスライド金具を本体前部のガイドに差し込みます。

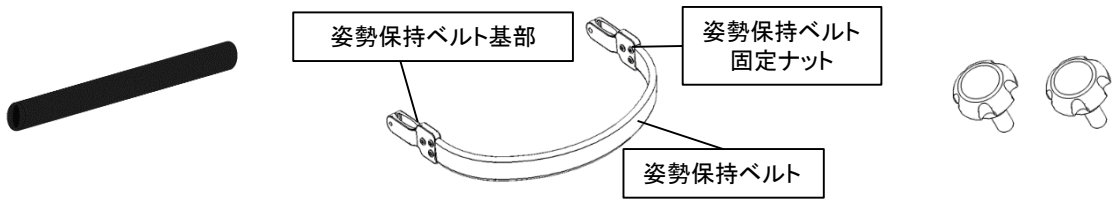
①各部の交換方法

2. 姿勢保持ベルトの交換方法

この交換方法で交換できる部品

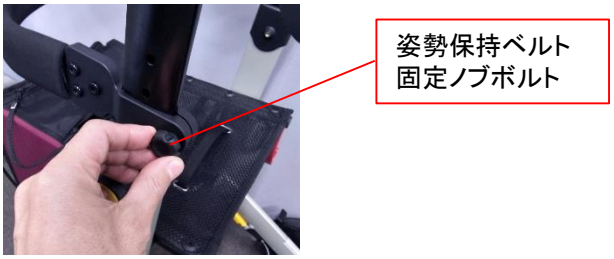
交換部品

2. 姿勢保持ベルトカバー　　3. 姿勢保持ベルトセット　　4. 姿勢保持ベルト固定ノブボルト（2個入り）



※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1）左右の姿勢保持ベルト固定ノブボルトを外します。



2）姿勢保持ベルト基部のスリットを広げ、ハンドルポストから姿勢保持ベルトを外します。

☞ スリットに指を挟まないよう注意してください。

☞ ハンドルポストを傷つけないよう注意してください。

3）姿勢保持ベルト固定ナットを4mmの六角レンチ2本を使って片側3か所のみ外し、外した側から姿勢保持ベルトカバーを引き抜きます。

六角レンチ
4mm×2本

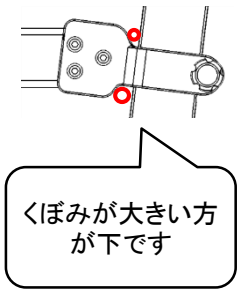
①各部の交換方法

2. 姿勢保持ベルトの交換方法（つづき）

4）新しい姿勢保持ベルトカバーを姿勢保持ベルトに差し込みます。

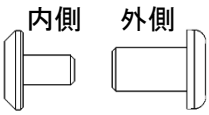
5）逆の手順で姿勢保持ベルトを取り付けます。

※取付時の注意



☞ 姿勢保持ベルト固定ナットの締め付けトルクは2N・m（20kgf・cm）です。

☞ 姿勢保持ベルト固定ナットは雄ネジが内側です。（下図参照）



3. 座面の交換方法

この交換方法で交換できる部品

交換部品

5．座面

6．座面固定ボルトセット
（6本入り）

8. 折りたたみベルト

※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

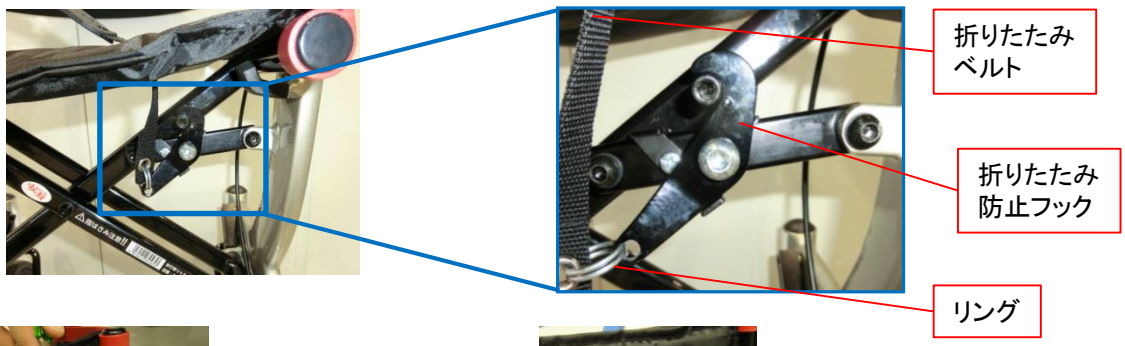
①各部の交換方法

3. 座面の交換方法（つづき）

1）リングを折りたたみ防止フックから外し、
続いて折りたたみベルトからリングを外します。

※リングを折りたたみベルトから外すだけでも構いません。

マイナスドライバー
ラジオペンチ



①マイナスドライバーで
リングを広げる。

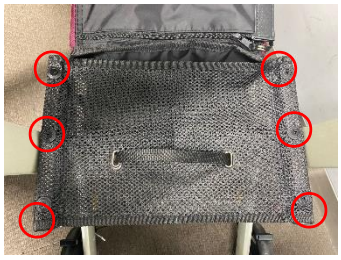
②ラジオペンチで
リングを回して外す。

2）折りたたみベルトを固定しているボルトを外します。

六角レンチ5mm
スパナ10mm

3）座面から折りたたみベルトを引き抜きます。

4）座面固定ボルトを6ヶ所外し、座面を外します。



プラスドライバー
2番

5）逆の手順で新しい座面、折りたたみベルトを取り付けます。

☞ ボルトを締める時は、締めつけ過ぎて折りたたみ動作に支障がでないよう、また、締め付けが甘くボルトが外れたりしないよう注意してください。

☞ ボルトを再度取り付ける時は、ワッシャーの位置に注意してください。

☞ 座面を取り付ける時は座面の前後の向きに注意してください。

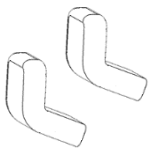
①各部の交換方法

3. 座面の交換方法（その他の座面まわり）

この交換方法で交換できる部品

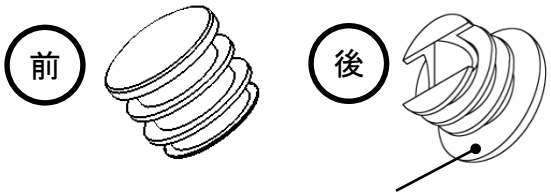
交換部品

7. 座面受けカバーセット（2個入り）



9. 折りたたみ保持フック

10. シートパイプエンドキャップセット
※交換部品は前後セットになります。

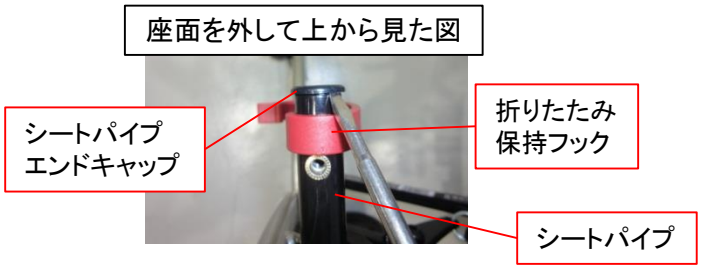


※この部分の径がシートパイプに差しこむ部分よりも4mm程度大きいものが後のキャップです。

※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

■折りたたみ保持フックの交換方法

1）シートパイプエンドキャップ（後）を外します。



マイナスドライバー

2）折りたたみ保持フックをシートパイプから引き抜きます。

3）新しい折りたたみ保持フックを取り付けて、シートパイプエンドキャップを取り付けます。

☞ シートパイプエンドキャップには前と後の2種類があります。
前後の取り付けを間違えないよう注意してください。（上図参照）

☞ 折りたたみ保持フックの取り付け向きに注意してください。

■座面受けカバーの交換方法

1）本体を軽く折りたたみます。

2）座面受けカバーを引き抜き、交換します。

☞ 座面受けカバーを取り付けないと、ガタつきが生じます。

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法

A. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブの交換方法

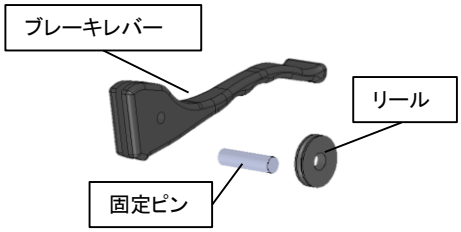
ブレーキワイヤー交換動画はこちら▶

※動画はリトルターンで実演していますが、本製品にも適用できます。

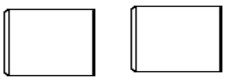
この交換方法で交換できる部品

交換部品

16. ブレーキレバーセット



21. ブレーキ基部キャップ×2

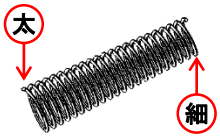


22. ブレーキワイヤーセット（LTⅡ用）

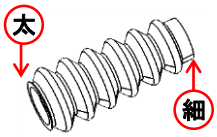
23. ブレーキワイヤー端部キャップ（10個入り）

26. ブレーキ調節ネジ

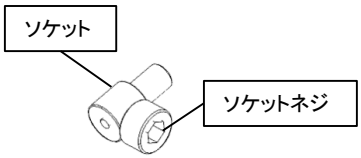
27.ブレーキバネ



28.ブレーキバネカバー



29. ブレーキ固定ソケットセット

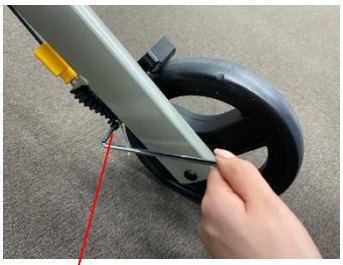


※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1）ブレーキワイヤー端部キャップを外し、ブレーキ固定ソケットのボルトを緩めてブレーキワイヤーを引き抜きます。

六角レンチ4mm
ラジオペンチ

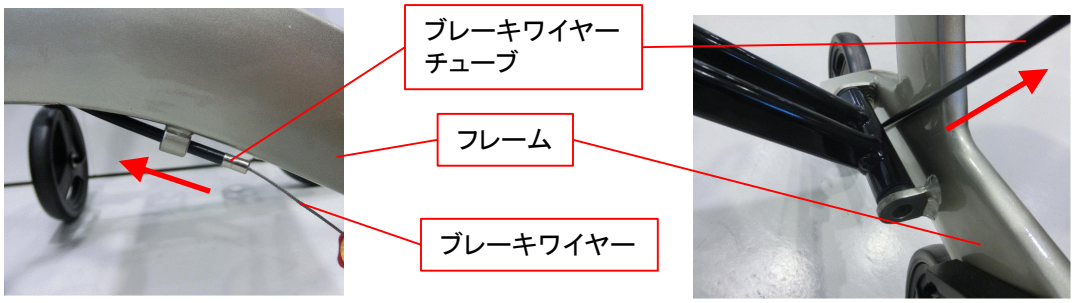
①ラジオペンチでブレーキワイヤー端部キャップを外す。



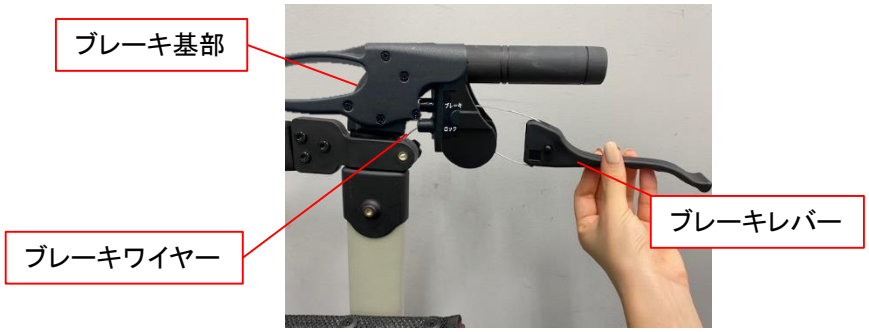
②六角レンチでブレーキ固定ソケットを外す。

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

2）フレームからブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを引き抜きます。

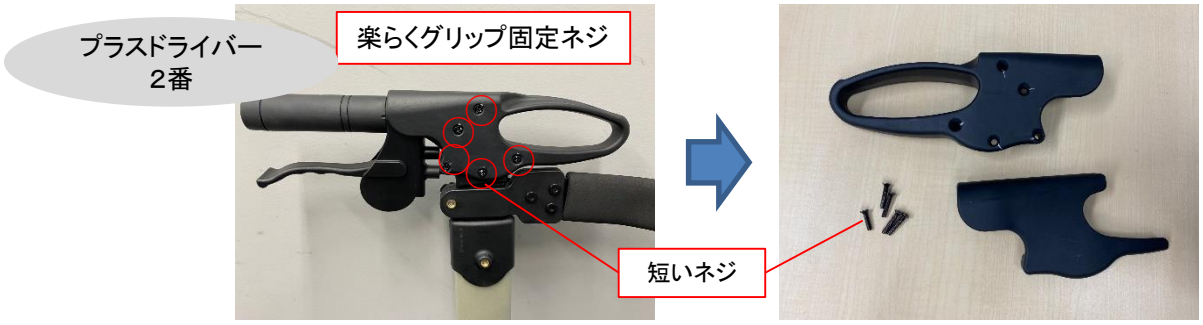


3）ブレーキレバーをブレーキ基部から引き抜き、ブレーキレバーから ブレーキワイヤーを引き抜きます。

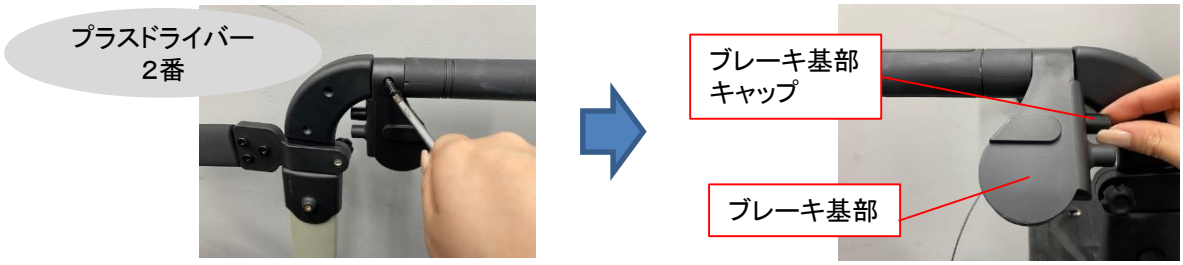


4）楽らくグリップ固定ネジ左右計10カ所を外し、楽らくグリップと楽らくグリップカバーを取り外します。

☞ 楽らくグリップ固定ネジは片側1カ所ずつ長さが違います。1番下側のみ短いネジを使います。



5）ブレーキ基部のネジを外し、ブレーキ基部を少し回転させてブレーキ基部キャップを外します。



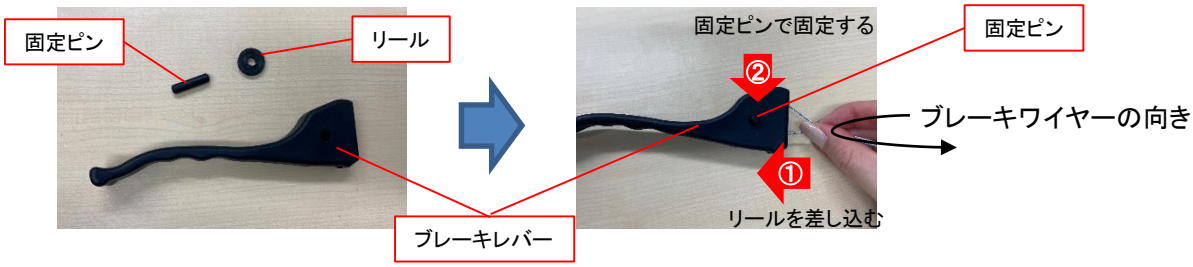
4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

6）ブレーキワイヤーをブレーキ基部から引き抜きます。

7）逆の手順で新しいブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴（上側）に前方向から通し、
ブレーキ基部キャップを取り付けてブレーキ基部の位置を戻し、ネジを締めます。

プラスドライバー
2番

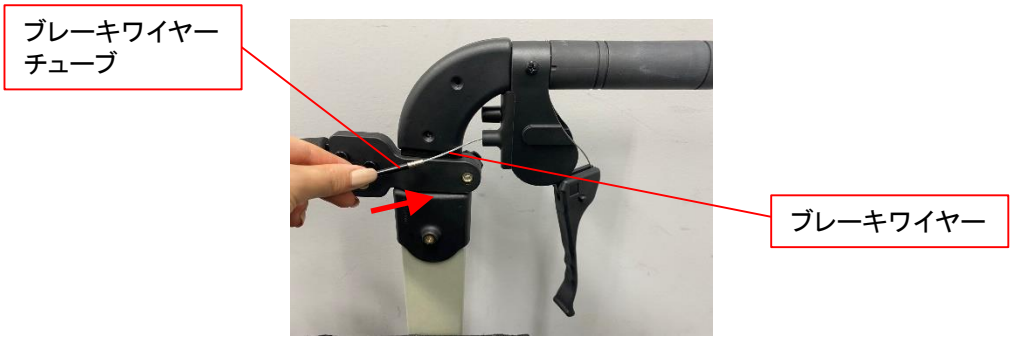
8）ブレーキレバーから固定ピンを抜き、リールを外します。ブレーキワイヤーを外した
リールに沿わせ、ブレーキレバーに差し込み、固定ピンでブレーキレバーに固定します。



9）ブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴（下側）に通します。（4. A. 3の逆手順）

☞ ブレーキレバーの向きに注意してください。
☞ ブレーキワイヤーが交差したり、リールに噛んだり
しないよう注意してください。

10）ブレーキワイヤーを新しいブレーキワイヤーチューブに通します。

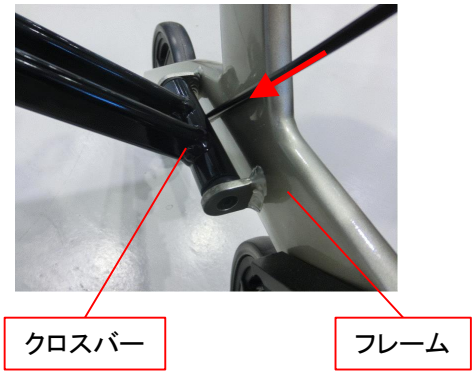


4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

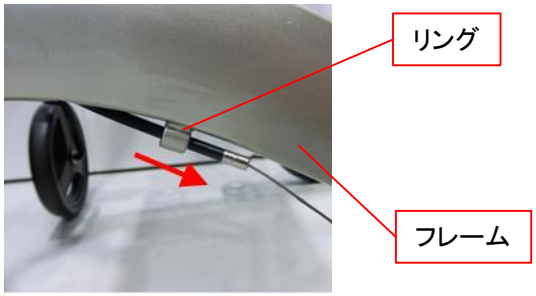
11）ブレーキワイヤーチューブをフレームに通します。

①姿勢保持ベルト固定ノブボルトの上側

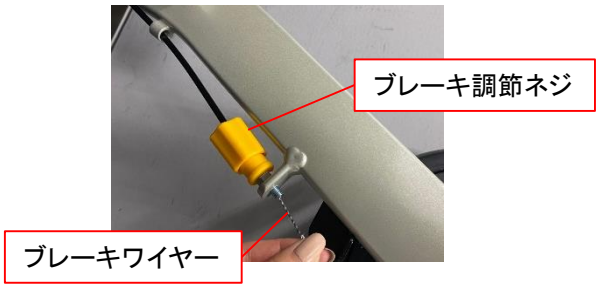
②クロスバー下部とフレームの間



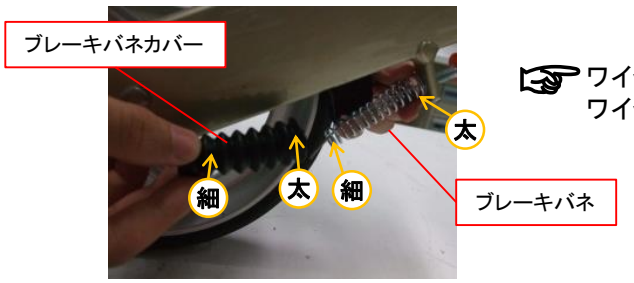
③フレーム下部のリング



12）ブレーキワイヤーをブレーキ調節ネジに通します。



13）ブレーキワイヤーをブレーキバネに通し、ブレーキバネカバーを取り付けます。

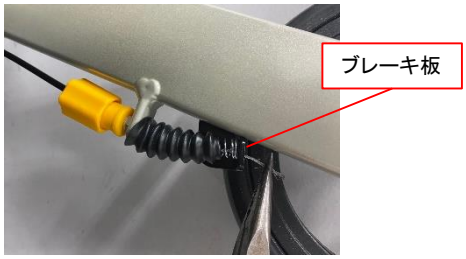


☞ ワイヤーが通りにくい時は、ラジオペンチで
ワイヤーをはさみ、引っ張ってください。

ラジオペンチ

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

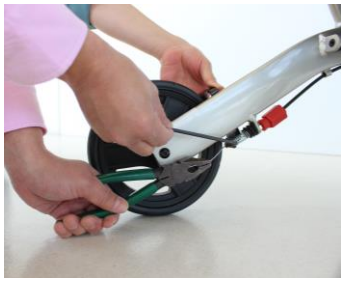
14）ブレーキワイヤーをブレーキ板に通します。



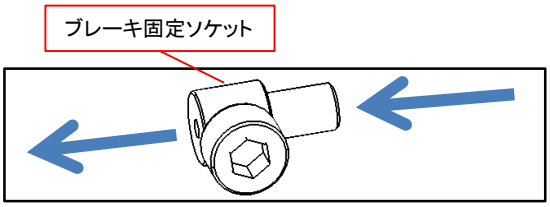
☞ ワイヤーが通りにくい時は、ラジオペンチでワイヤーをはさみ、引っ張ってください。

ラジオペンチ

15）ブレーキワイヤーをブレーキ固定ソケットに通し、締めつけて固定します。
（4. A. 1の逆手順）

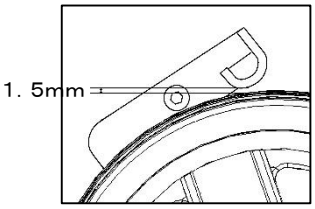


ラジオペンチ
六角レンチ4mm



☞ ブレーキ固定ソケットの細い側からワイヤーを通します。

☞ ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張り、ブレーキ板とタイヤの間隔が1. 5mmになるようにしてブレーキ固定ソケットを締めつけてください。



☞ ブレーキ固定ソケットの締め付けトルクは2N・m（20kgf・cm）です。

16）ブレーキワイヤー端部キャップを取り付け、外れないようにカシメます。

ワイヤーカシメ工具
（ワイヤーカッターなど）

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

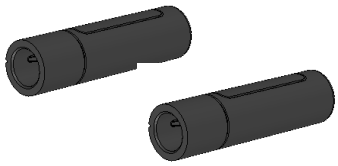
B. ハンドルグリップ、ブレーキ基部、ハンドル基部の交換方法

この交換方法で交換できる部品

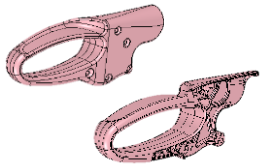
交換部品

11.ハンドル基部左右セット（LT II 用）

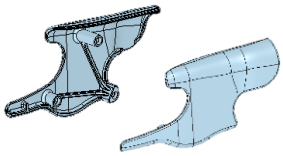
15. ハンドルグリップセット（2個入り）



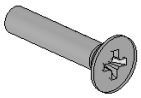
17. 楽らくグリップ左右セット



18. 楽らくグリップカバー左右セット



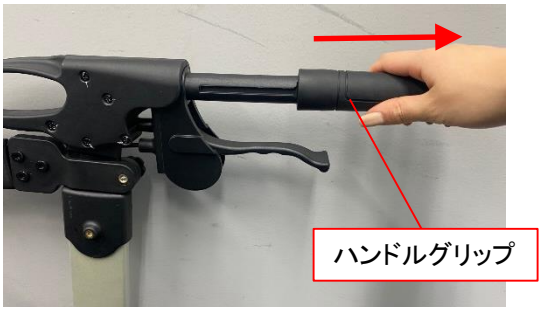
19. 楽らくグリップ固定ネジセット（10本入り）



20. ブレーキ基部（左右セット）

※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1）ハンドルグリップを引き抜きます。



☞ ハンドルグリップが抜けにくい時は、
ドライヤーなどで数分温めると抜けやすくなります。

<u>以下、ブレーキ基部、ハンドル基部を交換する場合</u>

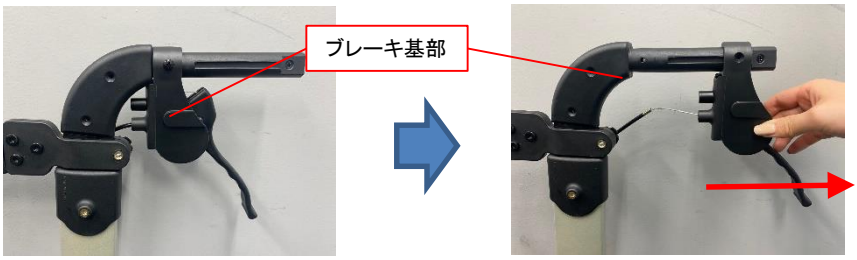
2）9ページの「ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブの交換方法」の1）～4）の手順に従って、ブレーキレバー、楽らくグリップ、楽らくグリップカバーを取り外します。

六角レンチ4mm
ラジオペンチ
プラスドライバー2番

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

3）ブレーキ基部のネジを外し、ブレーキ基部を取り外します。



プラスドライバー
2番

4）ハンドル基部固定ネジを外し、ハンドル基部を外します。

プラスドライバー
2番

5）新しいハンドル基部をハンドルポストに取り付け、ハンドル基部固定ネジで固定します。

☞ ハンドル基部の内側・外側の見分けかた
●内側　→　4か所に貫通孔が開いています
●外側　→　内部に雌ネジが埋まっています

プラスドライバー
2番

6）ブレーキ基部をハンドル基部に差し込み、ブレーキ基部のネジで固定します。

☞ ブレーキ基部はネジ穴が内側となるように
固定してください。

プラスドライバー
2番

7）逆の手順でブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを取り付けます。

☞ ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張り、ブレーキ板と
タイヤの間隔が1．5mmになるようにブレーキ固定ソケットを締めつけてください。

ラジオペンチ
六角レンチ4mm

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

ブレーキ板交換動画はこちら▶

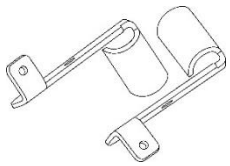
※動画はリトルターンで実演していますが、本製品にも適用できます。

C. ブレーキ板の交換方法

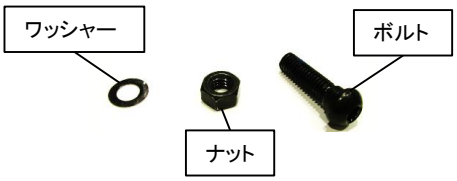
この交換方法で交換できる部品

交換部品

24. ブレーキ板（左右セット）

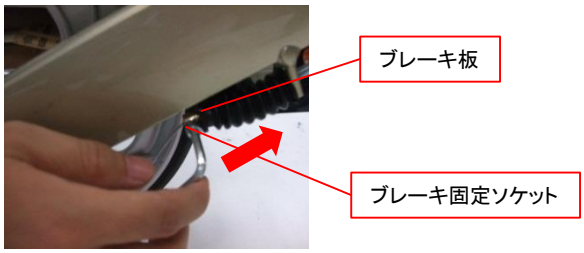


25. ブレーキ板固定ボルトセット



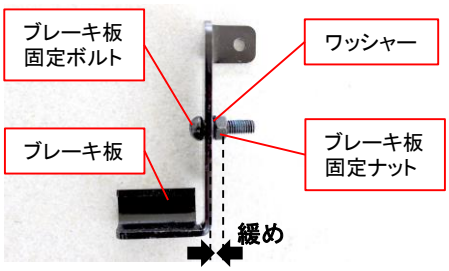
※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1）ブレーキワイヤー端部キャップを外しブレーキ固定ソケットを緩めて
ブレーキワイヤーをブレーキ固定ソケット、ブレーキ板から引き抜きます。



六角レンチ4mm
ラジオペンチ

2）ブレーキ板固定ナットを緩め、ブレーキ板固定ボルトを外してブレーキ板を取り外します。



六角レンチ4mm
スパナ10mm

3）新しいブレーキ板に、上図（左）のようにブレーキ板固定ナットを緩めに取り付けた状態にします。（※後輪との干渉を避けて取り付けるため）

4）ブレーキ板固定ボルトを締めつけてブレーキ板を本体に取り付けます。
ブレーキ板固定ボルトが回らなくなったらブレーキ板固定ナットを締めつけて、
ブレーキ板が回動可能な範囲内でガタつきをできるだけ小さくします。

5）再度ブレーキ板固定ボルトを締めつけます。

六角レンチ4mm
スパナ10mm

6）1）と逆の手順でブレーキワイヤーを取り付けます。

ラジオペンチ
六角レンチ4mm

☞ ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーをペンチなどで
引っ張り、ブレーキ板とタイヤの間隔が1．5mmになるようにブレーキ固定ソケットを締めつけてください。

①各部の交換方法

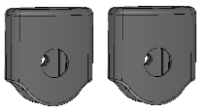
4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

D. 高さ調節部の交換方法

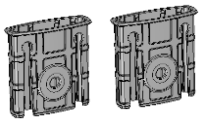
この交換方法で交換できる部品

交換部品

12. 高さ調節クランプ外（2個入り）（LTⅡ用）



13. 高さ調節クランプ内（2個入り）

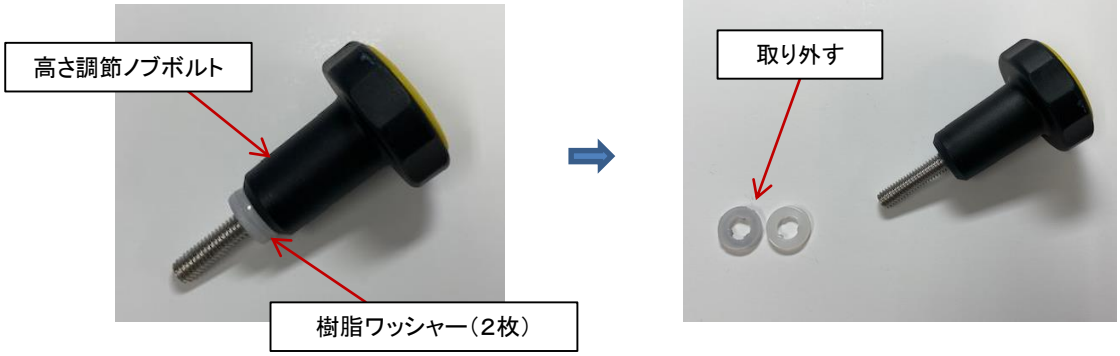


14. 高さ調節ノブボルト

※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

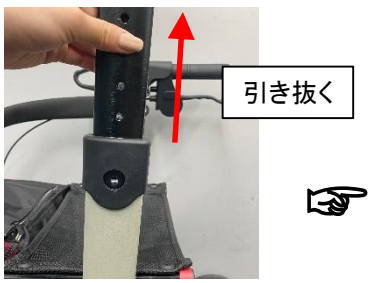
☞ **納品時に高さ調節ノブボルトに付いている樹脂ワッシャーはリトルターン Ⅱ・リトルターンⅡ抑速プラスの場合には使用しません。新しい高さ調節ノブボルトを取り付ける前に必ず樹脂ワッシャーを取り外してから取り付けてください。**

●納品時の状態



1）姿勢保持ベルト固定ノブボルトを外し、ハンドルポストから姿勢保持ベルトを外します。

2）高さ調節ノブボルトを外し、ハンドルポスト、高さ調節クランプ外・内をフレームから引き抜きます。

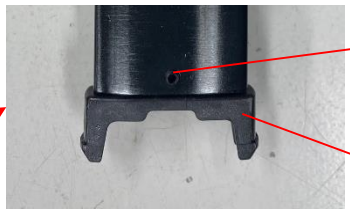


☞ 高さ調節クランプ外を上にずらすと引き抜きやすくなります。

①各部の交換方法

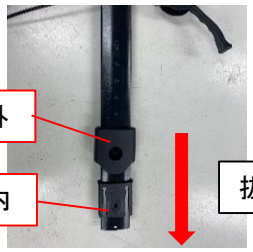
4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

3）ハンドルポスト下端の六角穴付き止めネジを六角レンチで外し、ハンドルポストキャップを取り外します。

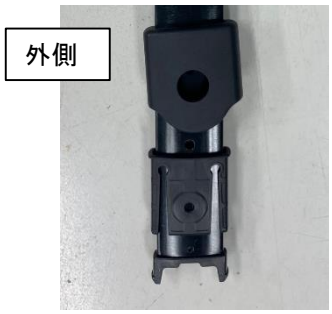


六角レンチ2mm

4）高さ調節クランプ外、高さ調節クランプ内をハンドルポストから抜き取ります。



5）逆の手順で新しい部品をハンドルポストに取り付け、
ハンドルポストをフレームに差し込んで高さ調節ノブボルトを締めます。



☞ 高さ調節クランプ外・内の取付方向を間違えないよう注意してください。

六角レンチ2mm

5. 後輪の交換方法

後輪交換動画は
こちら▶

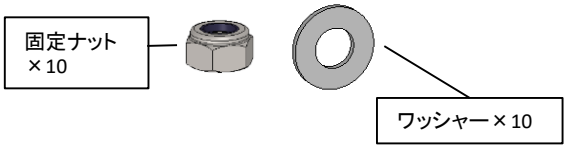
■標準後輪の交換方法

この交換方法で交換できる部品

交換部品

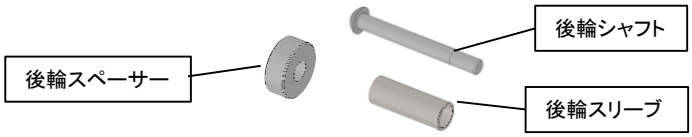
30. タイヤセット前輪・後輪共通（2個入り）

33. 前輪・後輪固定ナットセット
（10個入り）



37. 後輪キャップ

39. 後輪シャフトセット



※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

①各部の交換方法

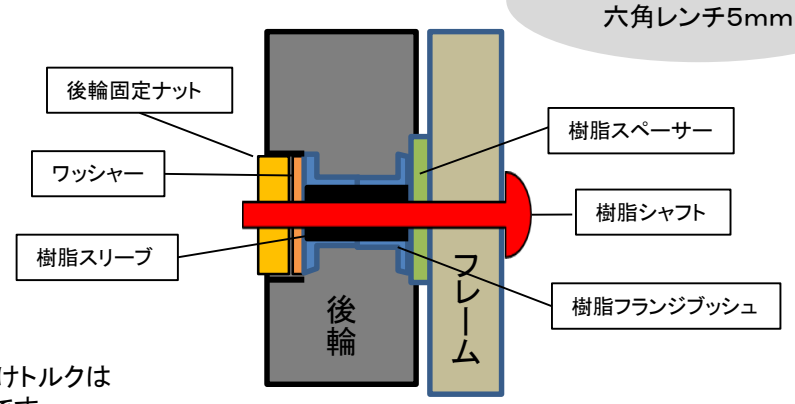
5. 後輪の交換方法（つづき）

1）後輪キャップを外します。

マイナスドライバー

2）後輪固定ナットを緩め、後輪・樹脂フランジブッシュ・後輪シャフト・後輪スペーサー・後輪スリーブを取り外して交換し後輪キャップを取り付けます。

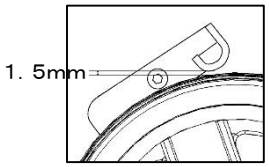
ソケットレンチ13mm
六角レンチ5mm



☞ 後輪固定ナットの締め付けトルクは
6．2N・m（63kgf・cm）です。

☞ 後輪を取り付ける時は後輪の向きに注意してください。
スリップサイン（タイヤ円周上の小さなくぼみ）が内側です。

☞ 後輪交換後にブレーキ板とタイヤの隙間が1．5mmになるように
ブレーキ調節ネジで調節してください。
1．5mmの目安＝10円玉の厚み



■抑速付後輪の交換方法

A．抑速付後輪の交換方法

この交換方法で交換できる部品

交換部品

56. LTⅡ抑速プラス
抑速ユニット左右セット

×2

57. LT抑速付（M8）
タイヤジョイントセット1台分

×2

⚠バッグ積載5kg未満!!

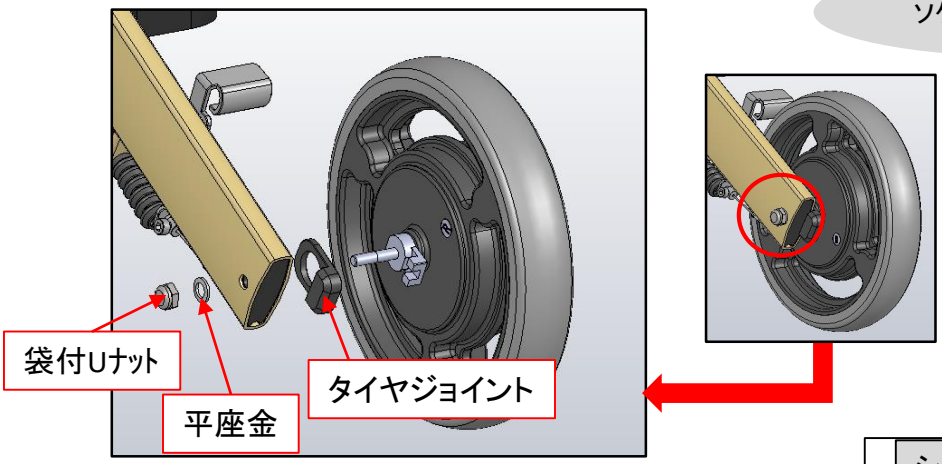
58. LTⅡ抑速プラス
抑速ユニットシャフトキー

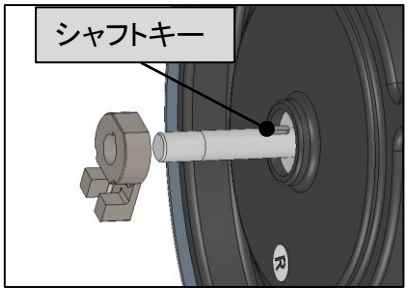
※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

5. 後輪の交換方法（つづき）

1）抑速付後輪を固定している袋付Uナットを緩め、抑速付後輪とタイヤジョイントを取り外し以下の項目に注意して交換します。

ソケットレンチ13mm



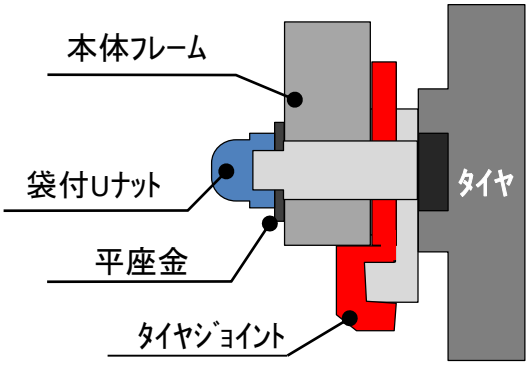


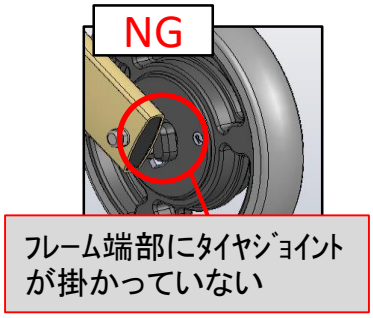
☞ 平座金は必ず取り付けてください。
外れ、破損する原因となります。

☞ 抑速付後輪を取り付ける前にシャフトキーが
付いていることを確認してください。

☞ 車軸のネジ部は取付前に脱脂洗浄をしてください。

☞ タイヤジョイントとフレーム端部は下図を参考に正しく接触させてください。





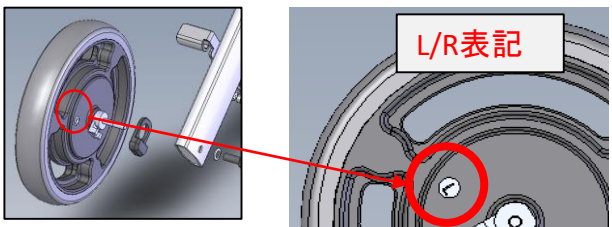
☞ 袋付Uナットの締め付けトルクは15N・m（約153kgf・cm）です。

☞ 軸とナットが供回りし、指定の締め付けトルクに達しない場合、ユニットシャフトキーが
外れている可能性があります。指定トルクに達しない場合は、再度分解して頂き、
シャフトキーが正しく取り付けられているか確認してください。

☞ 袋付Uナットを締め込む際、タイヤジョイントと軸の根元の嵌合状況によって
タイヤジョイントと本体フレームとの隙間の範囲でタイヤジョイントが動く場合がありますが、
抑速機能を阻害するものではありませんので安心してご使用ください。

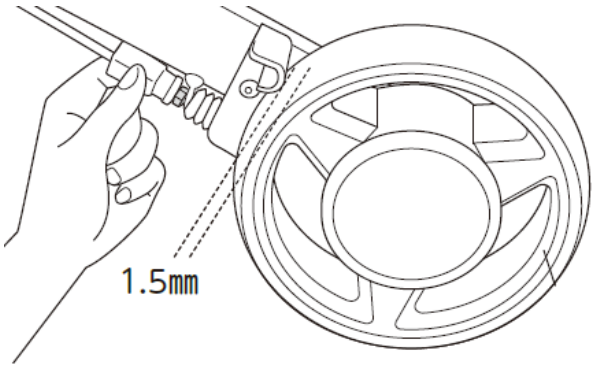
5. 抑速付後輪部の交換方法（つづき）

☞ **抑速付後輪には取り付け方向がありますので、抑速付後輪内側のL/R表記を確認して取り付けてください。**
Rの場合：歩行車後方から見て“右”に取り付けてください。
Lの場合：歩行車後方から見て“左”に取り付けてください。



抑速付後輪（左側）

2）ブレーキ板とタイヤの隙間を1．5mmに調節し、ブレーキが正しく作動することを確認してください。（31ページ参照）



☞ 抑速付後輪交換後にブレーキ板とタイヤの隙間が1．5mmになるようにブレーキ調節ネジで調節してください。
1．5mmの目安＝10円玉の厚み

B. 抑速付後輪のタイヤの交換方法

この交換方法で交換できる部品

交換部品

52. LTⅡ抑速プラス
交換タイヤキット1台分

×2

54. LTⅡ抑速プラス
M6皿ボルトセット

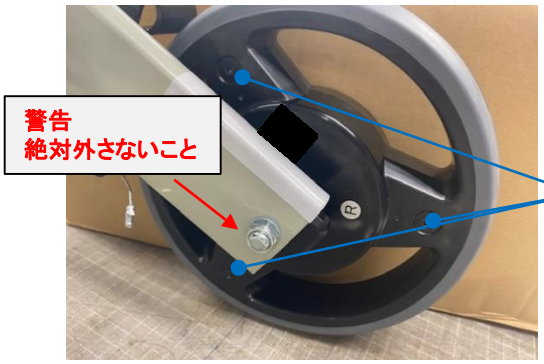
※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

①各部の交換方法

5. 後輪の交換方法（つづき）

1）抑速付後輪が歩行車本体に取り付けられた状態で
ホイールを固定している「M6皿ボルト（3本）」を緩めて、外します。

警告
抑速付後輪が歩行車本体から外れた状態で絶対にM6皿ボルトを外さないこと。
抑速機構が分解されてしまいます。（※復元できません）



六角レンチ4mm

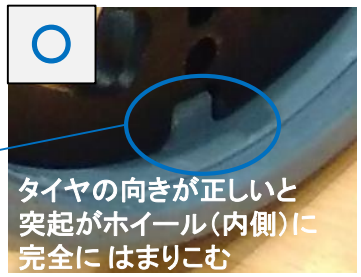
マイナスドライバー

2）タイヤとホイール（外側）の間にﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰを差し込んでホイール（外側）を外します。

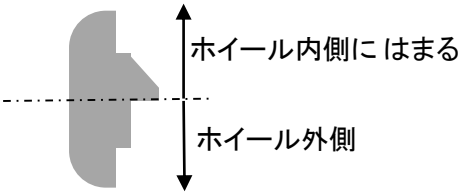
タイヤを外す

3）タイヤをホイール（内側）へ嵌め込みます。
この時、ホイールの溝（3か所）にタイヤの突起を合わせてください。
タイヤの突起には方向性があり、逆方向だとホイール（内側）に はまり込みません。

タイヤをホイールに はめこむ



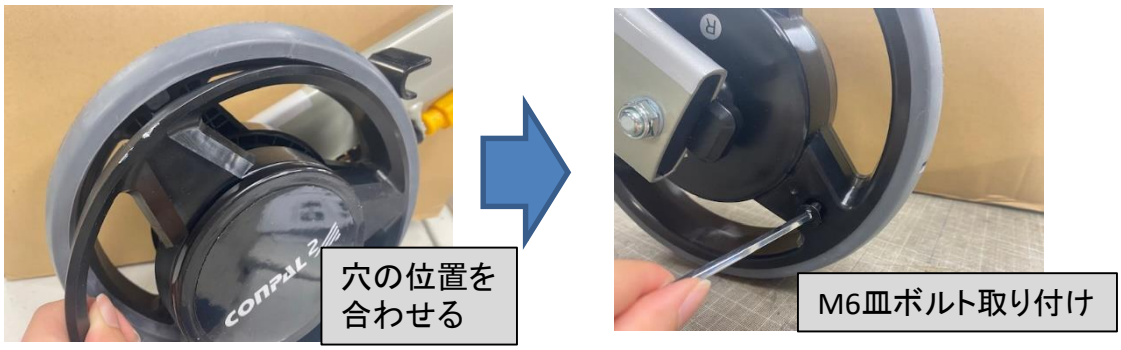
タイヤの突起



タイヤ突起部　断面図

5. 後輪の交換方法（つづき）

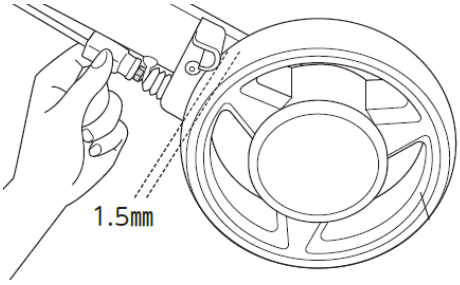
4）ホイール（外側）を嵌め込み、M6皿ボルトで止めます。
この時、ホイール（内側）と（外側）のボルト穴の位置を確実に合わせて固定してください。



☞ ホイールを固定するM6皿ボルトには緩み止めのため接着剤が塗布されています。
タイヤを交換したら、必ず新しいM6皿ボルトを使用してください。
締め付けるとき、規定トルク 2.6±10% N･mで締め付けてください。

六角レンチ4mm

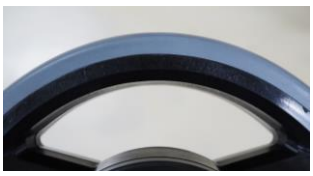
5）ブレーキ板とタイヤの隙間を1．5mmに調節し、ブレーキが正しく作動することを確認してください。（31ページ参照）



☞ 抑速付後輪交換後にブレーキ板とタイヤの隙間が1．5mmになるようにブレーキ調節ネジで調節してください。
1．5mmの目安＝10円玉の厚み

●タイヤ交換後、正しくついているか確認してください。

○



×

タイヤとホイールの間に
隙間がある。

○

×

タイヤ側面とホイール側面に
段差がある。

5. 後輪の交換方法（つづき）

C. 抑速付後輪のセンターキャップの交換方法

この交換方法で交換できる部品

交換部品　53. LTⅡ抑速プラス
センターキャップ

※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1）センターキャップ側面の切り欠きにマイナスドライバーを差し込んで
センターキャップを外して交換します。

マイナスドライバー

D. 抑速付後輪に付属の抑速ブレーキ力調節用六角レンチについて

部品　55. LTⅡ抑速プラス
抑速ブレーキ力調節用六角レンチ

1）抑速ブレーキ力を調整するときは付属の「抑速ブレーキ力調節用六角レンチ」を
使用してください。

☞ 抑速ブレーキ力の調整方法は取扱説明書の17ページに記載されています。

☞ 抑速ブレーキ力の工場出荷時設定は『強』です。

☞ このレンチは折り曲げ角度を90度より大きく
することで、長い方しか差し込めなくしています。
これにより調整部に過度な力が掛かることを
防止するものです。

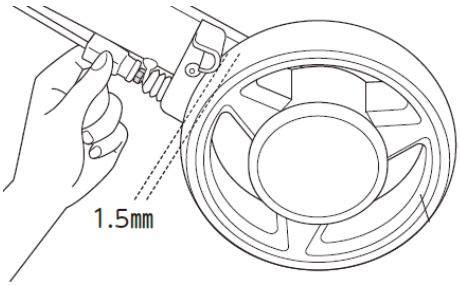
5. 後輪の交換方法（つづき）

■標準後輪（抑速付後輪）から抑速付後輪（標準後輪）への交換方法

1）標準後輪の交換方法（18ページ）または抑速付後輪の交換方法（19ページ）を参照し、後輪を取り外します。

2）標準後輪の交換方法（18ページ）または抑速付後輪の交換方法（19ページ）を参照し、後輪を取り付けます。

3）ブレーキ板とタイヤの隙間を1．5mmに調節し、ブレーキが正しく作動することを確認してください。（31ページ参照）



☞ 後輪交換後にブレーキ板とタイヤの隙間が1．5mmになるようにブレーキ調節ネジで調節してください。
1．5mmの目安＝10円玉の厚み

4）標準後輪から抑速付後輪に変更した場合には、交換部品57に同梱されているバッグ積載量5kg注意シールをクロスバー左下に貼り付けます。

☞ リトルターン（ロータイプ、ハイタイプ、トール103タイプ）にLTⅡ抑速プラス抑速ユニットを取り付けないでください。
リトルターンⅡの本体以外に取り付けると、予期せぬ事故につながるおそれがあります。

☞ リトルターンⅡの後輪を抑速付後輪に付け替えてご使用される場合、バッグの載荷重は5kg未満となります。
5kgを超えると抑速ブレーキが十分に発揮されません。

①各部の交換方法

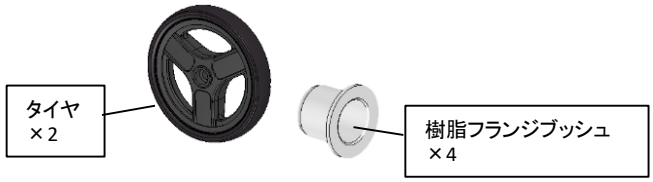
6. 前輪の交換方法

この交換方法で交換できる部品

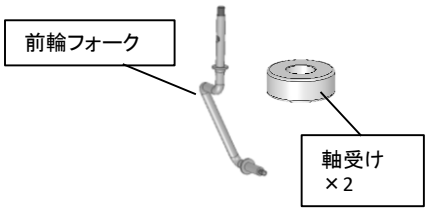
前輪交換動画はこちら▶

交換部品

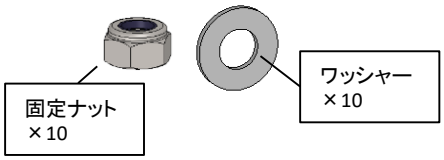
30. タイヤセット前輪・後輪共通（2個入り）



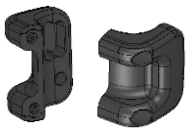
31・32. 前輪フォークセット



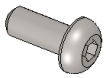
33. 前輪・後輪固定ナットセット（10個入り）



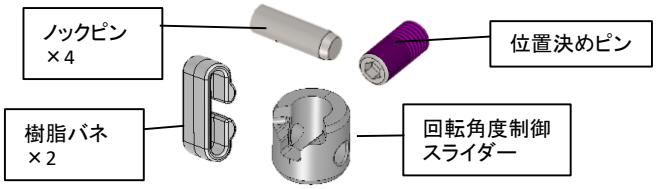
34. 前輪角度制御レバー左右セット



35. 前輪角度制御レバー固定ネジセット（10本入り）



36. 前輪角度制御セット



37. 後輪キャップ

※前輪も共通です。

38. 前輪フォークキャップ

※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1）バッグを取り外します。

2）2か所の前輪回転制御レバー固定ネジを緩め、前輪回転制御レバーと樹脂バネを外します。

6. 前輪の交換方法（つづき）

3）4本のノックピンを引き抜きます。

4）前輪フォークキャップを外します。

マイナスドライバー

5）前輪・後輪固定ナットを緩め、前輪フォークと軸受けをフレームから引き抜きます。

ソケットレンチ13mm

6）位置決めピンを緩めて外し、回転角度制御スライダー、軸受けを取り外します。

六角レンチ3mm

6. 前輪の交換方法（つづき）

7）前輪のキャップを外します。

マイナスドライバー

8）前輪固定ナットを緩め、ワッシャー、樹脂フランジブッシュ、前輪を前輪フォークから取り外します。

ソケットレンチ13mm

9）前輪、樹脂フランジブッシュ、前輪フォークを逆の手順で取り付け、ワッシャーを付けて前輪固定ナットを締め、前輪のキャップをはめ込みます。

ソケットレンチ13mm

10）回転制御スライダーと軸受けを逆の手順で前輪フォークに取り付け、位置決めピンを締めます。

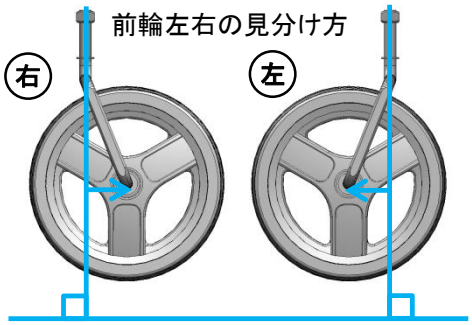
六角レンチ3mm

11）前輪フォークと軸受けを逆の手順でフレームに差し込み、前輪固定ナットを締めて前輪フォークキャップを取り付けます。

☞ 前輪固定ナットの締め付けトルクは
6．2N・m（63kgf・cm）です。

☞ 前輪を取り付ける時はタイヤの向きに注意してください。
スリップサイン（タイヤ円周上の小さなくぼみ）が内側です。

ソケットレンチ13mm



12）ノックピンをフレームに4箇所差し込み、逆の手順で前輪角度制御レバーを取り付けます。

☞ 樹脂バネを右図のように前輪角度制御レバーにはめてから、前輪角度制御レバー固定ネジで取り付けてください。

六角レンチ2.5mm

13）バッグを取り付けます。

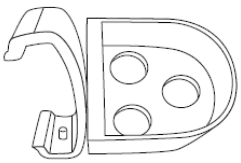
①各部の交換方法

7. 杖ホルダーの交換方法

この交換方法で交換できる部品

交換部品

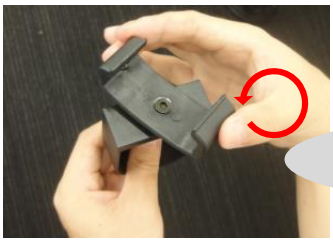
40. 杖ホルダー



※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1）杖ホルダー固定部の下側から、スリット部を開くようにして取り外し新しいものと交換します。

2）杖ホルダーの取付位置を左右を入れ替える場合はボルトを緩め、杖ホルダーを回転させて、角度を合わせた上で、取り付けます。



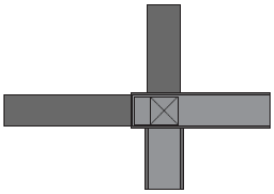
六角レンチ3mm

8. 杖固定ベルトの交換方法

この交換方法で交換できる部品

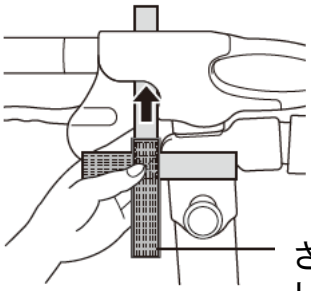
交換部品

41. 杖固定ベルト



※取り外し、取り付け手順の中で、必要に応じて各部品を交換してください。

1）杖固定ベルトをフレームから取り外し、新しいものをハンドルグリップに巻き付けます。



ざらざら
している方

②フレームの補修方法

1）塗装面のゴミ、油分、サビなどをよく落とします。

2）塗料が傷以外につかないように、マスキングを施します。

3）補修用スプレーRまたは補修用ペイントR（タッチペン）で塗装します。

☞ 塗料の一部が沈殿していることがあります。その場合は容器を振って塗料をよく混ぜ合わせてからご使用ください。

☞ 深い傷には数回重ね塗りをしてください。重ね塗りは塗料が乾いてから行ってください。

☞ 塗装方法の違いや、補修面の変退色により、色が正確に合わない場合があります。

☞ 火気には十分に注意してください。

☞ 有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくしてください。

☞ 補修用スプレーR、補修用ペイントR（タッチペン）を使用する際は、缶、瓶に記載されている使用上の注意をよく読んでからご使用ください。

補修部品：50. 補修用スプレーR
51. 補修用ペイントR（タッチペン）

③交換後の点検

■前輪、後輪（左右4ヶ所）に摩耗や割れがないことを確認してください。

■前後4輪が同時に接地していることを確認してください。

■車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。

■ブレーキおよび駐車ロックが正常に作動することを確認してください。

■ハンドルの高さ調節が正常に行えることを確認してください。

■折りたたみ動作がスムーズに行えることを確認してください。

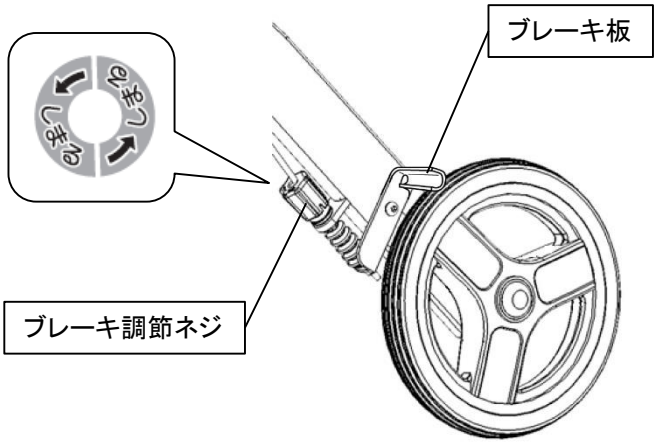
■前輪の回転角度を、0（直進）、90°、360°に調節でき、設定通りの角度で前輪が回転することを確認してください。

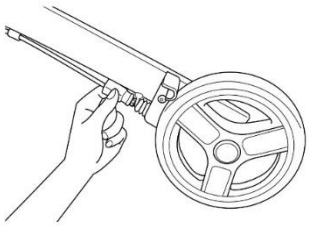
☞ 点検方法の詳細などはメンテナンスガイドを参照してください。

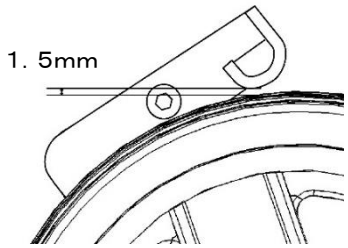
④ブレーキの調整方法

ブレーキがききにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキ板の位置を調節してください。

1. ブレーキ調節ネジのシールの表記に従って、矢印の方向にブレーキ調節ネジを回します。







1. 5mmの目安＝10円玉の厚み

2. ブレーキ板とタイヤの隙間が1. 5mmになるように調節してください。隙間が小さくなりすぎてしまった場合は、ブレーキ調節ネジを逆方向に回して調節してください。

⑤シールの貼付位置

47）ブレーキ指はさみ注意シール
※右側の同じ位置にもあります。

42）ブレーキ・駐車ロックシール
※左側の同じ位置にもあります。

48）前輪角度位置表示シール
※右側の同じ位置にもあります。

45）フレーム前方保護シール
※右側の同じ位置にもあります。

49）回転制御表示シール
※右側の同じ位置にもあります。

46）フレーム後方保護シール
※左側の同じ位置にもあります。

57）バッグ積載量5kg注意シール
※リトルターンⅡ抑速プラスのみ

44）指はさみ注意シール

43）ブレーキ調節表示シール
※左側の同じ位置にもあります。

交換部品

42. ブレーキ・駐車ロックシール
43. ブレーキ調節表示シール
44. 指はさみ注意シール
45. フレーム前方保護シール
46. フレーム後方保護シール
47. ブレーキ指はさみ注意シール
48. 前輪角度位置表示シール
49. 回転制御表示シール
57. LT抑速付（M8）タイヤジョイントセット 1台分
※リトルターンⅡ抑速プラスのみ

⚠ 注意事項

☞ 保管について

■戸外に保管して風雨や直射日光にさらしたままにしないこと
■火気に近づけないこと、また高温になる場所に保管しないこと
■荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと
■取扱説明書は本体と一緒に保管すること

☞ お手入れについて

■車輪に付着した泥や汚れなどはそのままにせず、よく絞った布などで必ず落とすこと
■次にあげるものではお手入れしないこと

・シンナー　・クレゾール　・塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
・磨き粉　・塩素系洗剤　・酸、アルカリ性洗剤
・タワシ　・研磨剤入りのスポンジ　・その他製品を傷つけるもの

■オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと
■注油する場合は、タイヤ、ブレーキ板、抑速付後輪に油がつかないように注意すること
もし油が付着した場合はよく拭き取ってください。
■抑速付後輪のお手入れの際には水をかけないこと
また、グリスや油、油性クリーナーや石鹸水は使用しないこと

☞ 廃棄について

■廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル **0120-86-7735**
（受付時間）祝祭日以外の月～金　10：00～16：00（12：00～13：00はのぞく）

・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
・個人情報は適切に管理し、修理やご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

TOAGOSEI グループ

アロン化成株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL　https://www.aronkasei.co.jp/ 安寿 検索

ライフサポート事業部

24.05　919272-3